



小須戸小学校だより

NO.3 夏休み直前特集号

令和2年 7月 22日(水) 発行



校 長 中林 浩子

いよいよ明日から夏休みです。今朝の全校集会で、私は夏休みに大切にしてほしい三つのことを子どもたちに話しました。一つ目は、「命を大切にすること」、二つ目は「自分の頭を使って考え、行動すること」、三つ目は「家族のためのプラスワンの実行」です。

「明日から34日間の長い夏休みに入ります。校長先生から皆さんに三つ、大切にしてほしいことを話します。

一つ目は、命を大切にすることです。皆さん一人ひとは、大切にかけがえのない存在です。そして、皆さん一人ひとりの命以上に大事なものなどありません。一人ひとりが、安全に気をつけて、様々な危険から自分自身を、自分の命をしっかりと守る生活をしてください。

二つ目は、そのために、毎日「自分の頭を使って考え、行動すること」を心がけて生活してください。何も考えず、なんとなく日々を過ごしたり、先生や家の人から言われたことだけをただやるような生活とは違う過ごし方をしましょう。

明日からの夏休みは、今までとは違い、コロナの影響を頭において新しい生活を考え、工夫する必要があります。制約がある中だからこそ、自分で考え、工夫して、夏休みにしかできないことにチャレンジしてほしいのです。

喜びや悲しみや怒りを感じる「心」は実は頭の中にあります。だから何よりも自分の頭で考えることが大切なのです。自分の気持ちをしっかりと感じられることが大切なのです。そのためには、頭をフル回転させた生活、考えながら生活することがとても重要です。

三つ目は、さらにその生活の中に、家族のためのプラスワンをしてください。それは家族の一員として、家族の役に立つことを、自分で決めてやり遂げることです。

この三つをしっかり実行し、8月26日には、大きく成長した小須戸っ子の皆さんに会えることを楽しみにしています。」

コロナの影響下の夏休みとなります。だからこそ、いつもと異なる大切なものを感じ、受け止め、成長につながる機会にしてほしいと願っています。是非、ご家庭でも「命の大切さ」について、親子で話す機会をもってください。また、子どもが自分で考えた「夏休みの過ごし方」についても、どんなことを考えているのか、お子さんの話をしっかりと聞いて、やろうとしていることへの励ましと応援をお願いします。

保護者の皆様、7月10日の一日フリー参観、PTA総会、そして学校経営方針説明会は、分散参観とZoomを活用した新たな試みでの実施でしたが、多くの方からご参加いただきました。大変ありがとうございました。やっと、保護者の皆様に、子どもたちや教職員の様子をご覧いただくことができ、学校の雰囲気を感じていただくことができましたこと、とても嬉しく、皆様のご理解とご協力に感謝いたします。夏休み以降も、この状況だからこそできることは何か、今までの「当たり前」から脱却し、大胆に発想を転換して、子どもが楽しく学ぶ学校づくりに取り組んで参ります。

【特集】学びのユニバーサルデザイン(UDL)への取り組み – Season 1 –

教師が「どう教えるか」から子どもが「どう学ぶか」へ

児童一人一人が「授業がわかる!楽しい!」を実感し、自ら学びに向かおうとする意欲を高めるため、児童のニーズに応じた「多様な学び方」を提供する授業「学びのユニバーサルデザイン(以下 UDL)」について、2名の講師を迎えて、5月より年間を通した Zoom による教員研修に取り組んでいます。

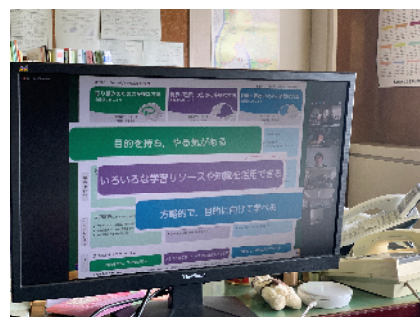
UDL では、これまで一斉指導で教師が「教える」授業から、児童が「自ら学ぶ」授業への転換を図り、すべての子どもの学習の伸びを助け、子どもたちが主体的に学習にかかわり、自らの学びを舵取りできる学習者になれるよう支援することを目的としています。

小須戸小学校では、学校全体で UDL に取り組み、児童が自分に合った学習方法で自ら学びを進めていく力を育てていきたいと考えています。

これは、新学習指導要領のねらいでもあり、新潟市が目指す「これからの社会をたくましく生き抜く力の育成」にも合致していると考えます。

教師は「知識を授ける」立場から「一人一人の子どもの学びを傍らから支援する」役割へ考え方を転換しなければならないと考えています。実は、これが、なかなか容易なことではないのです。しかし、私たち教職員も専門家である二人の講師に伴走していただきながら、主体的な学習者として学び続け、成長し続ける教職員集団を目指します。

今回は、「UDL 特集 Season 1」として、試行錯誤しながらも、少しずつ UDL に取組はじめた各学年の様子をお伝えします。



夏休み明けの主な予定

8月26日(水) 前期後半開始 全校朝会 給食後放課

9月 1日(火) 身体測定 カウンセラー来校

9月 11日(金) 1日フリー参観 地震想定避難訓練

*5年生自然教室・6年生修学旅行に伴う保護者説明会を開催予定です。

*感染防止の観点から、フリー参観の実施方法について検討中です。

それぞれ、詳細が決まりましたら、お知らせいたします。

9月 16日(水) 歯科健診

9月 18日(金) 不審者想定避難訓練

9月 30日(水) 5年自然教室①

10月 1日(木) 5年自然教室②



*8月11日(火)～19日(水)は、学校閉庁期間です。

緊急時の連絡先は、新潟市教育委員会学校支援課 025-226-3237 です。

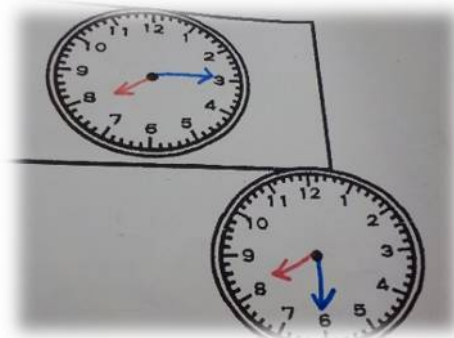
UDL特集(Season 1)～6・7月の取組紹介～

自分の学びを舵取りできる子どもへ

1年生

1年生では、まだ、時間の概念が未熟なため、校時表や作業時間を示す時には時計に針を書き込み、時間を視覚的に認識できるように工夫しています。

学習では、口頭で指示をした後に、視覚的に指示が確認できるように、図で描いたり、具体物を使ってマス目で書く場所を示したりしています。ノート指導では、実際にノートのマス目を提示して、どこに書くのかを子どもが自分で見つけられるようにしています。子どもが、視覚、聴覚、体感覚をつかって学べることを大切にしています。



2年生

2年生では、体育が始まると、各自なわとびに取り組んでいます。

1年生のときの自分を振り返り、2年生のめあてを決めました。その「めあて」を達成するために、どのような練習をしていくか、なわとびカードの裏に練習メニューを示し、自分に合った方法で練習に取り組んでいます。

れんしゅうメニュー(好きなものをえらびます)

- ① ひとりっ子タイム
 - ・一人でどンドン れんしゅうをします。
- ② アドバイスタイム
 - ・ペアでやります。○回ひっかかったら、こうたい。
 - ・とぶコツをおたがいにアドバイスします。
- ③ チャレンジタイム
 - ・ペアになって、回数を数えてもらいます。
 - ・とべた回数のところまで、色をぬります。



① ひとりっ子タイムと② アドバイスタイムを行ったり来たりしながら、③ チャレンジタイムで自分のできる技を試したり、新しい技ができるようになったりと、各自の伸びを確認しています。

3年生

3年生では、主体的な学びを目指し、各自の「学び方の引き出し」を増やすため、さまざまな学習方法に挑戦しています。3年生という段階では、どんな方法で学ぶか、という引き出しがまだ十分ではありません。そこで、学習班での活動を多く取り入れています。

課題を投げかけ、その課題解決に向かって、進行役、記録まとめ役など、役割を決めて、学習します。

課題について個人で考えた後、話し合います。話し合いの中で、必ず疑問点が出てきます。その際は、教科書やノートを読み直す、班の友達と新たな考えや答えがないか話し合う、教師にヒントをもらうなど、多様な学び方を選べるようにし、自分に合った学び方を大切にしながら、みんなの知恵を集めて課題解決に向かうようにしています。

また、発表方法も「ポスター」「クイズ」「新聞」「実演」など、自分たちで最も伝わる方法を選びます。発表の後には、振り返りをして、他の班のすごいところや取り入れたいところを見つけ、次回に生かします。

「自分で」「みんなで」解決方法を模索して学習するのはとても楽しいようで、積極的に考えを出し合うことができるようになってきました。今後はICTでのまとめや発表を取り入れて、新たな「学び方の引き出し」を増やしていきます。



4年生

4年生では、表裏が黄色と白のマグネットネームプレートを使って、自分の学び方を決めたり、学習状況を知らせたりする取組をしています。担任はそれを見て、机間指導をしながら子どもを支援します。まず、授業が始まったら、子どもたちはネームプレートを黄色にして、机の上に置きます。

授業では、新しい学習内容を学んだ後、練習問題をします。その際、ひとりで練習問題をやるのに不安がある人は、ネームプレートを黄色のままにします。自力でできそうな人は、ネームプレートを白に返して始めます。これは、「自分でできる」「ちょっと助けが必要」「全然分からない」など、今の自分の学習状況を自分で把握する力を養うことにもつながります。担任は、プレートの色を確認しながら、声かけや必要に応じた個別対応も素早くできるので、子どもは、問題が解けるか不安なときも安心して学習に向かえます。

子どもの学び意欲を大切にするので、ゆっくりやっている子どもでも、まずは、本人が自力で解こうとする気持ちを尊重して、プレートが白なら見守ります。さらに、練習問題が終わった子どもたちは、まだやっている友だちの机上の黄色プレートを探して、教えに行くこともしています。このような取組によって、子どもたちの学び合いの輪も広がってきました。



5年生

安心して学習に取り組むことができるよう「学習の見通し」を示すことを大切にしています。5年生は、図画工作で「窓から見える風景」という題材に取り組みました。学校の周りの家並みと手前にある物を組みあわせた風景画です。図画工作は、得意不得意の意識が学習意欲に大きく関係しますし、学習の見通しがもてないと不安で表現を躊躇する子どももいます。そこで、今回は、「見通し」＝「ゴールを示す」ことにしました。できあがりの参考作品を示すことによって、「こんな絵を描くのか」というイメージをもつことができます。部分的に見通しをもたせることも大事にしています。この題材では、最初の一軒目が重要です。この最初の部分が成功すると、子どもは集中して最後まで描き切ることができます。しかし、子どもにとっては大きな画用紙にペンで描き始めることは、勇気のいることです。そこで、ここでも参考作品を使います。小さく描かれた家を拡大して示します。拡大した家を見ることによって、「こんな風にかけばいいんだな」と安心感をもって描き始めることができます。



ゴールを示した参考作品



一軒目の家を拡大した参考作品

6年生

6年生の算数では、学習の見通しをもち、進んで課題解決に取り組めるよう工夫しています。

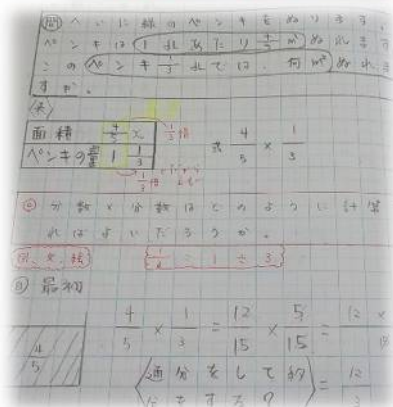
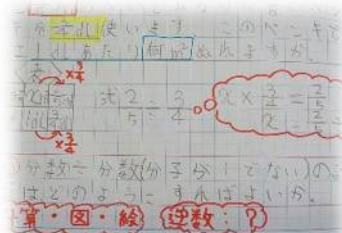
- ① 「つかむ・見通す」「課題解決に取り組む」「考えを交流する」
「まとめ・適用題」の4部の授業構成。【学習の見通しをもつ】

毎回授業の流れが同じことで、学習全体の流れが分かり、先を見通して進んで学習に取り組めるようにしています。これは、どのように学んでいけばよいのか学習の進め方が身に付き、自分が今、取り組むべきことは何かを確認できるよさがあると考えています。

- ② 課題解決方法を選択する。

【進んで課題解決に取り組む】

どのような方法で課題を解決していくか、(1) 絵 (2) 図 (3) 式 (4) 言葉 (5) 図と言葉 (6) その他 といった選択肢を黒板に示し、子どもは自分が考えやすい方法を選択して、課題に取り組めます。各自が自分に合った方法を選択することで、主体的に課題解決に取り組む姿が見られるようになってきました。



自ら学びにアクセスする 小須戸っ子たち



もっといい考えはないかな！(3年生)



初めての習字(3年生)



小須戸グルメ調査隊①(4年生)



小須戸グルメ調査隊②(4年生)



国語「俳句」(5年生)



町屋見学(5年生)



緑花ボランティアさんとタマネギの収穫(あおぞら)



村井さんとさつまいもの苗植え(あおぞら)



あさがおが大きくなったよ(1年生)



かっこうたんけんしたよ(1年生)



パソコンで漢字を学んだよ！(2年生)



わっかでへんし〜ん！(2年生)



FM 新津の取材を受けました！(6年生)



12年後の私(6年生)



コロナ対応のために離れて食べる給食



新しい生活様式について(児童集会)



ある日の昼休み しっぽとい缶けり鬼ごっこ



**自分たちの問題は
自分たちで！
学級会の様子**

